

上北教育事務所だより vol.35



青森県基本計画
「選ばれる青森」への挑戦
支え合い、共に生きる

〒039-2593 青森県上北郡七戸町字蛇坂 55-1
Tel. 0176-62-2128 Fax 0176-62-2130
E-mail E-KAMIKITA@pref.aomori.lg.jp

令和元年12月2日

学びの質を高める授業改善プロジェクト事業 **ブラッシュアップ公開研究発表会**

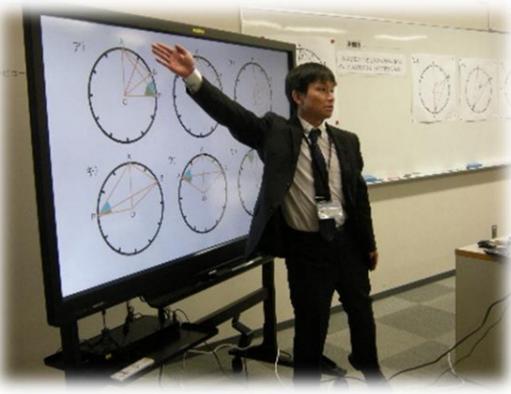


本事業は、教員の授業力向上、児童生徒の資質・能力の育成を目的とし、授業改善の基本となる「学びの質を高める授業スタンダード」を策定することを目指しています。

11月1日、十和田市立深持小学校において、上北管内の小中学校推進リーダーである森本賢志先生による社会科の授業と研究協議、そして早稲田大学藤井千春教授による講演が行われ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の在り方について研修を深めました。



ICT教育推進事業 **授業公開研究会（授業改善フォーラム）**



学習指導におけるICTの適切な活用

11月18日に青森県総合学校教育センターにおいて「授業改善フォーラム」が行われました。フォーラムでは、いくつかの公開授業が行われ、上北管内からは、十和田市立東中学校の新山裕介先生によるICTの活用をメインとした数学の授業が公開されました。単元は3学年の「円」を取り上げ、学習過程に「拡大提示装置（主にPowerPoint）」「アプリケーション『ロイロノート・スクール』」を適切に位置付け、生徒は手慣れた様子で使用していました。参観した先生方は、課題把握や自力解決、交流場面においてその様子を興味深く観察していました。授業後の協議会では、ICTの活用について活発な協議が行われ、授業の提案性の高さがうかがえました。

同じICT教育推進事業として11月27日に六ヶ所村立千歳平小学校において「小学校プログラミング教育普及啓発地区研修会」が行われました。詳細は次号でお知らせします。

研修案内 **令和元年度冬季学校体育実技（スキー、スケート）講習会**

今年度も冬季学校体育実技講習会を、下記の日程で開催します。

スケートの会場は、今年度オープンしたばかりのYSアリーナ八戸です。午前は施設内の見学、午後は実技研修を予定しております。

スキーは、より多くの先生方に参加していただきたいと考え、今年度から開催日を1日（昨年度までは2日間）にしました。管内でスキー教室等を実施する学校は、できるだけ参加をお願いいたします。

スケート講習会

期日：令和元年12月26日（木）
会場：YSアリーナ八戸
（長根屋内スケート場）

スキー講習会

期日：令和2年1月7日（火）
会場：七戸町営スキー場



きめ細かな指導を受けることができます
（写真は昨年度の様子）

みんなで考えるいじめ防止活動研修会

いじめが起きにくい・いじめを許さない環境づくりを実現するとともに、各学校のいじめ防止対策のより一層の充実を図ることを目的に11月20日、公立小川原湖青年の家で開催しました。

はじめに、十和田市立大深内中学校の代表生徒3名による実践発表がありました。ロールプレイを交えた演習もあり、参加者からは「中学生がたくさんの方の前でも堂々と発表しているのに驚いた。」「日頃からがんばっていることが伝わってきた。」等の感想が聞かれ、大変好評でした。また、おいらせ町立百石中学校の上野佑太先生からは、2年間にわたって取り組んだ「居場所づくり・絆づくり調査研究」についての実践発表、県総合学校教育センターの工藤直子指導主事から「いじめの問題の捉え方と組織的な取組」と題して講義・演習をしていただき、大変充実した研修会となりました。



大深内中の発表。ロールプレイのあとで「あなたなら、どうしますか？」

地域学校協働活動合同ワークショップ（上北地区）



地域コーディネーター、教員、学校支援活動関係者、読み聞かせ団体関係者等、地域学校協働活動に係る関係者が一堂に会し、合同ワークショップを行いました。

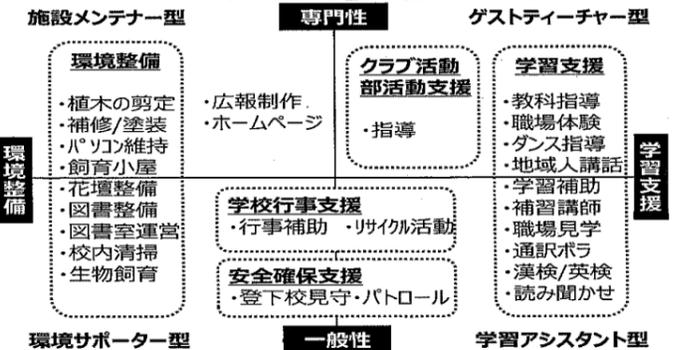
前半は、講師から提示された「地域学校協働活動がうまく進まなかった事例」をもとに、原因や改善策を考えて話し合いました。後半は、「コーディネータ支援の活動例」を参考に、各校の現状について情報交換する中で、自分の学校・地域に必要なことを考えることができました。

全国的にコミュニティ・スクール（CS）が増えていく中、学校と地域を結ぶ教員やコーディネーター等の役割は、今後ますます重要になります。今後もこのような研修を充実させていきたいと考えております。

【参考】県内のCS導入率 15.7%。地域学校協働本部設置率 40.3%。（R1.5 現在）

地域学校協働活動とは、地域の高齢者、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、**学校を核とした地域づくり**を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして**連携・協働**を行うさまざまな活動。（『地域学校協働活動の推進に向けたガイドライン 参考の手引き』〈H29.4〉より）
※「さまざまな活動」の例は、右図を参考にしてください。その他にも、放課後子供教室などの放課後支援、協働防災訓練、社会奉仕体験活動、自然体験活動など幅広い活動が考えられます。

「コーディネータ」支援の活動例



放課後子ども総合プラン指導員等研修会（後期）

放課後子供教室推進事業（放課後子供教室、放課後児童クラブ）に関わるコーディネーターや教育活動サポーター、放課後児童支援員等を対象に、標記研修会を開催しました。研修会には、上北管内の関係者約130人が参加（横浜町は下北地区に参加）しました。

講師は特定非営利活動法人十和田NPO子どもセンター・ハピたので代表理事を務めている中沢洋子氏。ハピたので行っている学童保育、コミュニティカフェ等の実践を紹介しながら「子どもの遊びと育ちを考える～いのちを育むということ～」というテーマで講話していただきました。「自由に考えさせて遊ばせる大切さ」「子供たちが自分で生き抜いていく力を付ける支援の大切さ」等、参加者の心に残る研修会でした。



楽しそうに遊ぶ子供たちの写真も印象的でした